

# サトイモ種イモの水選別と温湯処理の2段階構えでサトイモ疫病の伝染リスクを低減

サトイモ種イモの水選別と温湯処理の併用で、サトイモ疫病由来の種イモの腐敗等を抑制し、定植後の初期生育は良好

## 背景・目的

- ・サトイモ疫病は平成27年以降、県内全域でまん延しており、罹病した種イモは主要な伝染源のひとつ
- ・本病に対する種イモの防除には登録農薬がなく、罹病した種イモの選別方法と種イモ消毒法の開発が必要

## 成果の内容

種イモを水で選別後に、50℃・5～10分間または55℃・5分間の温湯処理を行うことで、サトイモ疫病による腐敗が少なくなり、定植後の初期生育は良好となる

### 水に種イモを浸して選別

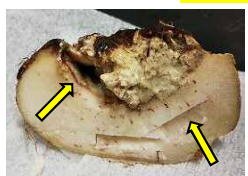


水に沈む種イモは直ちに温湯処理へ

浮いた種イモは除去！  
疫病菌を高率に検出



菌が感染した外見上健全種イモ



浮いた種イモの断面  
疫病菌の検出箇所(黄矢印)



温湯浸漬処理  
50℃ 5～10分間  
または55℃ 5分間

処理後は直ちに流水で冷却！

### 定植後のサトイモの生育



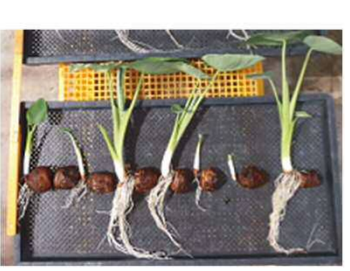
◎ 50℃ 5分間浸漬



◎ 55℃ 5分間浸漬



◎ 50℃ 10分間浸漬



【比較】温湯浸漬なし

## 期待される効果

- 優良な種イモ選抜方法の確立
- 種イモによる疫病菌の伝搬リスクの減少
- 疫病による欠株の減少
- 単収アップ

○普及対象・範囲  
サトイモ農家

鹿児島県農業開発総合センター  
生産環境部病理昆虫研究室